

音 楽		教出（教育出版株式会社）
総 評		<p>主体的で対話的な活動を実践しやすい内容となっており、音楽的知識や技能のスキルアップを図る配列に工夫がある。</p> <p>学びの幅が広がり、学習内容が深まるような「学び合う音楽」のコーナーを設定している。</p> <p>教科書を見開いたときに、系統・単元・本時のめあての記載場所を見つけにくい。限られた授業数の中で取り組む内容としては少し難しい。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教材が、主体的で対話的な活動を実践しやすい内容となっている。③</li> <li>○ 中学年の「学び合う音楽」については、子どもに分かりやすく提示しているため、学びの幅が広がり、学習内容が深まる。③（3年P.25）</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ リコーダーの導入部分では、楽器の魅力やリコーダーアンサンブルが取り上げられている。①（3年P.17）</li> <li>○ 曲想と音楽の構造がわかりやすい内容となっており、音楽のもとが自然と習得できるように、選曲にもこだわっている。②</li> <li>○ 常時活動でどんな取り組みをすればよいかを紹介しており、技能面でスキルアップできる内容がはじめに入っている。③</li> <li>○ 和楽器について取り上げ共通教材や鑑賞教材と関連させている。⑤</li> <li>○ 音楽表現の工夫がしやすい内容のものが多い。④</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 挿絵や写真が美しい。特に鑑賞教材での写真が素晴らしく、迫力があったり手元が写っていたりと大変効果的である。③（6年P.8）</li> <li>○ 音楽の構造が視覚的にわかりやすい。③</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 細かく構成が工夫されており、スキルアップにつながる配列となっている。①</li> <li>○ 低学年の鑑賞では、表現と鑑賞の一体化が図られており、系統の流れが分かりやすい。⑥（1年P.48）</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4, 5, 6年生の教科書に現在の音楽家の方を紹介しており、学習したことが広がるように工夫されている。②（4年～6年扉）</li> <li>○ 音符の学習を楽しく取り組めるよう工夫されている。②（2年P.17）</li> <li>○ 低学年については、曲想に合った動きのある写真が多く、指導しやすい。②</li> </ul>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容がやや専門的で高度なものが多く、指導者の力量・専門性が必要となる内容となっている。③</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ めあて、題材の意図が分かりにくい。②</li> <li>○ 限られた授業数の中で取り組む内容としては少し難しい。③</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字が小さい。②</li> <li>○ 目次が枠内、枠外とあちこちにあり、わかりにくい。③</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 系統、単元、本時のめあてなどが一目ではわかりにくい。①</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽器の写真、活動紹介のイラストなどが小さくてわかりにくい。②</li> </ul>

音 楽		教 芸（株式会社教育芸術社）
総 評		<p>児童にとって親しみやすい教材（曲）が多く、児童の実態や心情によく合っている。曲想は児童が関心を持ち工夫しやすいものが多く、楽しんで旋律をつくることができるように配慮されている。</p> <p>児童が1年間で学習する内容について大まかな見通しを持ち、主体的に学べるような工夫がある。</p> <p>発展的な取扱いができる教材の数については課題がある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材（曲）が親しみやすく、曲想も児童が関心を持ち工夫しやすいものが多い。④</li> <li>○ 巻頭に1年間の学習内容が明記されており（「音楽の木」）、児童の見通しや主体的な活動につながる。③（各学年扉）</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 専科ではなく各担任が教えやすい内容となっている。②</li> <li>○ 歌唱教材は、児童の実態や心情によく合っており児童が親しみやすい曲が多い。⑤</li> <li>○ 低・中学年を中心に、どの子も楽しんで旋律をつくる体験ができるように教材が工夫されている。⑤（3年P.13、2年P.27）</li> <li>○ 発達段階を考慮したわかりやすい内容の配置ができています。⑥</li> <li>○ 郷土芸能や、和太鼓・エイサーについて取り上げられている。⑤</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 装丁が児童に親しみやすい。①</li> <li>○ 文字の大きさなどが適切である。②</li> <li>○ 共通事項が同じ配置で掲載されており、わかりやすい。③</li> <li>○ 3年生のリコーダーの運指図で、ふさぐ穴が大きくわかりやすく表記されている。③（3年P.23）</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 音楽づくりをどのように学習していくのか、わかりやすく系統立てて構成されている。①</li> <li>○ 振り返りの部分もあり、わかりやすい配列となっている②</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 振り返りのページでは、共通事項ごとにまとめられていて、分かりやすい。めあての達成状況も分かりやすい。①（6年P.82）</li> <li>○ リコーダーの運指には指番号を表示している。①</li> <li>○ 5, 6年生で表現活動を大きくとらえている資料があり、児童の興味・関心が広がる。②</li> </ul>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主体的・対話的な学習がさらにできるよう、ペアやグループで活動する内容をもう少し取り上げたい。③</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が親しみのもてる鑑賞曲、集会で扱える曲、もう少し高度な合唱曲などを取り入れたい。④</li> <li>○ 低学年では音楽あそびを楽しむだけで終わる懸念の教材がある。指導者がしっかりねらいをとらえることができる工夫がほしい。⑤</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真や資料など、さらに印象的でイメージを膨らませる資料がほしい。③</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ さらに発展的な取扱いができる教材があれば望ましい。②</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽曲へのイメージが広がる写真や、鑑賞教材のワークシートの工夫が必要である。②</li> </ul>